

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新西宮男子寮	階数	地上5F
建設地	兵庫県西宮市熊野町35番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居地域	平均居住人員	126人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年2月25日
敷地面積	4,147㎡	作成者	大成ユーレック株式会社 一級建築士事務所 川村直広
建築面積	1,016㎡	確認日	2021年2月25日
延床面積	3,896㎡	確認者	大成ユーレック株式会社 一級建築士事務所 北岡博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	室内の温熱環境・空気環境の向上を図り快適な居住空間を創出するとともに、積極的に外構緑化に努めるなど、建物内外の環境設計において配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級等級4を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー	適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など高効率な設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化へ配慮した。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	木軸組・LGS下地等により躯体と仕上材が容易に分別可能とし、部材の再利用の可能性を高めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される